

建設業



栃木県総合スポーツ新スタジアム
延床面積 42,037 m²・地上4階・RC/S構造。400メートルトラック9レーンの陸上競技場と、Jリーグの施設基準に準拠した天然芝のサッカー場を備える。
観客席は全座席根付きの約2万5000席、最大約35度の勾配でフィールドとの一体感を演出する。

進化論

私たちはつくる。安心できる建物を。暮らしやすいまちを。
そして、栃木県の建設業の「未来のカタチ」を。



卓越した技術力で、地図に残るような巨大な建造物をつくる…。

災害時には現場にいち早く駆けつけ、瓦礫や倒木の除去など、復旧作業にあたる…。

人びとの暮らしや安心を陰で支える、それが建設業です。

私たちは、この使命を今後も十分に果たせるよう、

技術はもちろん、私たち自身の働き方も、さらに進化させていきたいと思います。

働き方を変えれば、仲間が増える。未来が変わる。

新たな進化を目指す、栃木県の建設業にご期待ください。



働く人の
生活が
もっと

安定

できるように

生活の基盤が安定してこそ、人は一生懸命に働くことができます。栃木県の建設業は県内で月間の給与額が各業種の中でも上位にあり*、協会会員企業は全社社会保険加入を既に達成していますが、今後もさらに環境整備を進めていきます。

* 栃木県統計課「毎月労働統計調査調査結果」より



「休む」を大事に

工期短縮の目的で長時間労働になりがちだった建設業。私たちは4週間(28日間)に8日の休みを割り振る「4週8休」を基本に、しっかり休んでしっかり働く体制を目指しています。

女性も働きやすく

協会および栃木県により「とちけん小町魅力向上委員会」を発足。専用の更衣室やトイレの用意、育児休業後の復帰も含め、女性も働きやすいように設備や意識の変革に努めています。

一生を
通じて
もっと

成長

できるように

仕事とは、お客様や社会のためだけのものではなく、働く人が成長するための大切な機会でもあります。技術や知識をしっかりと習得し、お客様や社会にさらに還元できるように、教育や伝承に力を注いでいきます。



「学ぶ」を応援

職人世界にありがちな「見て覚えろ」体質を見直すべく、積極的に研修会を開催。技術を学び生涯の単位として取得できる「継続学習制度」も推奨し、技術の向上・伝承を図っています。

将来の姿を例示

若者や新規入職者が将来像を描きやすくなるようキャリアプランをサポート。資格の種類、取得時期や取得により従事できる職務、収入なども例示し、キャリアアップを促します。

社会に
対して
もっと

貢献

できるように

安心・安全な建物をつくる。災害時はいち早く復旧作業にあたる…。建設業が保有する高い技術や知見、誠実な取り組み姿勢をもっと役立ててもらえるよう、情報公開を強化するとともに、異分野との連携も推進していきます。



「安心」を支える

協会のパトロールで報告された情報をシステムで共有し、インフラの最適管理に努めています。災害時には、真つ先に現場に駆けつけ応急対応するなど、地域の安心を支えています。

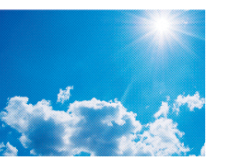
建設業を越えて

さまざまな技術、多様なノウハウを保有する建設業。働く人の能力と可能性をさらに広げるためにも、業種や官民を越えた連携を図り、培ってきた知見で広くまちづくりに貢献します。

人材募集

可能性が広がる「栃木」で
私たちの仲間になりませんか？

巨大スタジアムや免震タワーなど、卓越した技術力で新たなランドマークを生み出しつづける栃木県の建設業。県の内外を問わず、いま幅広く人材を募集しています。経験等は問いません。まずは、お気軽にお問い合わせください。



お問い合わせはこちらへ **TEL.028-639-2611**

栃木県建設業協会のホームページ(<http://www.tochiken.or.jp/>)内に「求人情報ページ」も用意しています。



「地域の守り手」
一般社団法人 **栃木県建設業協会**

宇都宮市築瀬町 1958-1 TEL. (028) 639-2611



ホームページ

Twitter

YouTube

私たちは「建設業進化論」をテーマに掲げ、技術はもちろん、働き方も、もっともっと進化させていきます

安心をお届けして50年

我が国初の労災上乘せ補償

建設共済保険

2021年
未来に、つなごう。



健康とともに、これからも
ともに歩み、ともに支える。



労働者と企業のリスクをカバー
(死亡及び障害1-7級、傷病1-3級)

掛金が魅力

契約者に役立つ事業充実

育児奨学事業

被災者(死亡および障害・傷病3級以上)の子供に対して、要保期間および小学校から大学までの在学期間中、返済不要の奨学金を継続して給付。

労働安全衛生推進事業

① 安全衛生用品の頒布
② 女性専用トイレ・更衣室導入費用の助成
③ 安全衛生推進表彰 等

公益財団法人

建設業福祉共済団

〒105-0001 東京都港区赤坂1丁目1-8 赤坂サンプラザ11階
Tel.03-3581-8441 Fax.03-3581-8474
■ 取扱機関：(一社)栃木県建設業協会

契約者と業界の発展のために 建設共済保険 検索 <http://www.kyousaidan.or.jp/>